

設計・計画部門



森下大右

生年月日 1981年2月京都府生まれ
最終学歴 2005年 大阪大学
大学院工学研究科
環境工学専攻修了
業務経験 2005年 株式会社昭和設計入社
現在、建築設計部 主査
●担当した主なプロジェクト
2006年 「キタヤマシガウゴク」
2010年 「梅田ゲートタワー」
2010年 「上原成商事大阪支店」
2011年 「くらこん本社」
2015年 「いの町新庁舎」

■青年技術者のことば

建築は人と人が出会う場所であり、人と環境、都市を結ぶ豊かな空間としてあるべきと考えています。

人がその空間でどのような行動をおこし、環境をどのように感じ、人と人がどのように交わり、建築が周辺環境とどのような関係性を持つかなどと建築を通じたあらゆる「つながり」を想像して設計を行うようにしています。

インターネットやSNSが普及した現代だからこそ、実物の建築や都市の空間は僕たちにとってより重要な場所になるのではないかと考えています。

建築は経済や法律、機能、重力、環境、歴史、施主の思いなどさまざまな条件の中で成り立っています。

複雑な諸条件のもと、その最適解を紡ぎ出す中で、人と人をつなぎ、建築と都市をつなぎ、環境へとつなぐ心地よい豊かな空間を設計することを常に意識しています。

■すいせん者

鳥居久人
株式会社昭和設計 執行役員



kitayamasugi
子供たちが触りたくなる動く丸太の柱



kitayamasugi
城南宮の神苑に溶け込むフォリー



kitayamasugi
庭との距離感を自由に調整できる丸太



umeda
梅田と中崎町のイメージをつなぐ



umeda
街をつなぐ通り抜けピロティ



umeda
大きなベンチで街をつなぐ



ueharasei
内外の中間領域



ueharasei
都会の喧騒から優しく包み込むレイヤー



ueharasei
雑多な街の中で外とつながるオフィス



kurakon
緑を通して自然の恵みを感じる



kurakon
みんなが集まるワンルームのオフィス



kurakon
海藻の陰に隠れて用を足す



ino
町民が集う場所となる百年庁舎



ino
光と風が溢れ、一体感を生む吹抜



ino
伝統技術の和紙を後世につなぐ